



おおまつ重和大松しげかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

森田知事

農業は千葉県の「輝く宝」



は、再び本会

を特集しました。

旭市から県議会で登場した大松重和(おおまつ・しげかず)県議は、一期目ながら、昨年6月議会から農林水産常任委員会委員長に就任し、自らのフ

旭市特集



本会議場で千葉県農業を熱く語る大松重和県議

飼料用米作付けは前年の4倍 県の補助金同額確保を要望 畜産農家への配慮も忘れず

12月県議会一般質問

要望 県からの補助金3千円は、新年度も少なくとも同額は確保していただきたい。

大松議員 実需者側の視点から、飼料用米の利用促進のため、県としてどのように取り組んでいくのか。

農林水産部長 県では、生産拡大が進んでいる飼料用米の利用を促進するため、畜産農家に対しては、家畜の消化を高めるために

稲作農家への支援策を

大松議員 地域農業を担う意欲ある稲作農家をどのように育成・支援していくのか。

森田知事 本県は、首都圏にありながら、農業産出額は全国第3位の農業県であります。特に野菜をはじめ、花きや果実などの園芸産出額は全国第1位で、次いで畜産や稲作の生産が盛んであり、バランスのとれた農業生産が営まれています。このように高いポテンシャルを持った農畜産物は、千葉県を誇りであり、輝く宝だと考えています。

稲作農家への育成・支援ですが、地域農業を担う意欲ある稲作農家の育成は、重要な課題だと考えており、県では農地の利用集積による生産規模の拡大や認定農業者等に対する経営改善指導等を実施してきたところです。

これまでの取り組みに加え、生産・加工・販売を一

米を破碎する機械の導入、一方、稲作農家に対しては、畜産農家や配合飼料会社から求めている大型梱包に対応できる機械等の整備などの支援を検討してまいります。また、畜産総合研究センターなどがこれまで研究し、確立した飼料用米の混合割合などの調製技術についても、今後、積極的に普及してまいります。

県政に一直線！

県政や地元・旭市のことはお気軽にご相談ください。

大松しげかず 県議事務所

〒289-2505 旭市鎌数174-2
TEL0479(62)7571
FAX0479(63)9300

旭市特集

好きです大松しげかず

12月県議会一般質問

大松しげかず県議

農林水産常任委員長に就任!!

「園芸王国ちば」全国1位

大松議員 本県は農業産出額が全国第3位ですが、園芸部門の産出額は全国第1位です。「園芸王国ちば」強化支援事業のこれまでの実績と成果はどうか。また、来年度以降の見通しはどうか。

森田知事 本事業では、ビニールハウス等の整備・温室等の改修及び鮮度を保つ予冷庫などの整備を実施してまいりました。これらの施設整備により、市場での競争力が強化され、平成20年の園芸産出額で全国第



議場の白席から立ち上がり再質問する大松県議

露地野菜の産地対策

大松議員 露地野菜の生産対策をどのように進めていくのか。

農林水産部長 だいこん、にんじん、キャベツ等の露地野菜は、1品目で産出額が100億円を超えるなど、本県園芸農業の重要な部門です。しかし、産地では高齢化や担い手不足が進んでおり、生産力の強化が重要だと認識しています。

このため県では、①労力不足を補う省力化や低コスト化のための作業機械の導入②農地の貸借や耕作放棄地の活用等による担い手農家への農地の利用集積③干ばつ等の気象災害を軽減する用排水施設の整備—などを重点的に推進し、担い手となる農家の規模拡大と生産

花きの消費拡大

大松議員 県として、千葉県産の花きの消費拡大をどう図っていくのか。

農林水産部長 県としては①一般消費者向けには「千葉県フラワーフェスティバル」の開催や生産者が取り組む消費拡大イベントへの支援②卸売市場向けには、生産団体や全農千葉県本部と連携した「ちばの花」市場展示会の開催③小売専門店やブライダル関係者等の実需者向けには「国際フラワーEXPO」など、花き生産団体との商談の場の提供に取り組み、県産花きの消費拡大を図っているところです。

香取海匠地域の医師確保

大松議員 香取海匠地域医療再生計画に位置づけられた圏域の医師確保はどのようにして進められているのか。

健康福祉部長 同再生計画では、県域内の拠点病院である旭中央病院に地域医療支援センターを設置し、周辺の自治体病院へ医師を派遣するなどし、医師の確保を進めることにしています。これまでも、各自治体病院が強化す

な対策を講じていくのか。

農林水産部長 畜産業の発展には、生産性の向上及び経営の安定を図ることが重要だと考えております。具体的な対策としては①乳用牛は、優良牛の選抜による搾乳量の増加②肉用牛は、受精卵移植技術などを活用した和牛の増産③豚は、優良な子豚を多く産む種豚の改良と普及④採卵鶏は、需要に応じた計画的な生産の推進—などの対策を重点的に展開します。

大間手地先の歩道整備へ

大松議員 県道銚子海上線の旭市大間手地先の歩道整備について、今後どのように進めていくのか。

県土整備部長 当該区間は、近くに小中学校や保育園があり、通学路となっていることから、子供たちの安全を確保する歩道の整備が必要で、県では、今年度延長約千6百メートルの歩道の整備を進めています。



森田知事と印旛沼二期事業を視察する大松県議

大松しげかず県議 PROFILE

略歴	
昭和33年	旭市鎌数生まれ(9月23日)市立旭二中、県立銚子商業高校卒
昭和53年	養豚業/旭市農協青年部委員長/旭市立共和小PTA会長/県養豚協会理事/旭青年会議所会員
平成19年	千葉県議会初当選
現職	
・自民党県連	総務会委員
・県議会	農林水産常任委員会委員長
・千葉県	卸売市場審議会委員
・旭ロータリークラブ	会員/海匠農業共済組合理事
自己紹介	
●生活信条	初志貫徹
●趣味	ジョギング、読書(歴史)
●家族	父母、妻と一男二女の7人家族